

朝からはじまる特別な出遇い

2019年
真宗大谷派名古屋別院(東別院)

暁天講座

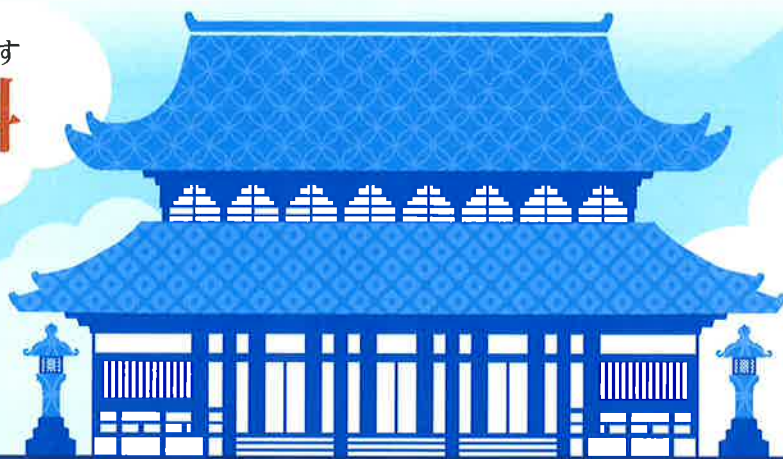
◇◇◇ gyouten kouza ◇◇◇

8月1日(木)~5日(月)

とき 午前6時15分~8時
ところ 東別院 本堂

「暁天講座」を5日間ご聴講の方に、別院報恩講(12月13日~18日)のお齋(食事)引換券を進呈します。
詳しくはお問い合わせください

パンとジュースを進呈します
聴講無料



お子さまには

同時開催 集まれ!子どもたちはやおき鳥

~お勤めの稽古と早朝学習会~

8/1(木)~5日(月)

夏休みの宿題、課題をもってきてね!
5日には楽しいイベントもあるよ!

時間 午前6時15分~8時 会場 東別院 対面所
問合せ 社会事業部 052-331-9576

8/1(木)

しんぼう じろう

辛坊 治郎

株式会社大阪総合研究所代表、キャスター

8/2(金)

あいだ かずひと

相田 一人

相田みつを美術館館長

8/3(土)

どうし まゆみ

道志 真弓

元アナウンサー

8/4(日)

あまたつ たけし

天達 武史

気象予報士

8/5(月)

きむら せんしろう

木村 宣彰

大谷大学名誉教授、鈴木大拙館館長



主催
問合せ

真宗大谷派名古屋別院(東別院)

名古屋市中区橋2-8-55 TEL 052-321-9201(代表) FAX 052-321-3184
(交通案内)地下鉄名城線「東別院」@出口より、西へ徒歩5分

お東ネット

検索

<http://www.ohigashi.net>



〈お知らせ〉 ◆本願寺名古屋別院(西別院)でも、7月31日(水) 午前6時30分~「朝の講座」を開催します
TEL 052-321-0028

2019年
真宗大谷派名古屋別院(東別院)

暁天講座

◇◇ gyouten kouza ◇◇

8月1日(木)~5日(月)

とき 午前6時15分~8時

ところ 東別院 本堂

1(木)



しんぼう じろう
辛坊 治郎

株式会社大阪総合研究所代表、
キャスター

時代を読み解く
~正しい判断は正しい情報から~

テレビ番組『ウェークアップ!ぶらす』『そこまで言って委員会NP』でおなじみの辛坊治郎さんが「暁天講座」初日に登壇されます。「ここだけの話」をまじえ、時代についてわかりやすく読み解いていただきます。

プロフィール 1956年鳥取県米子市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、読売テレビ放送株式会社に入社し、アナウンサー、キャスター、ドキュメンタリープロデューサーなどを担当。2000年より報道局情報番組部長に就任。朝の情報番組でニュースの解説を担当する。2010年読売テレビを退職。現在は様々な番組で司会などを務める。

著書 『壊されつつあるこの国の未来』『ニュースの嘘を見抜け!』『ニュースで伝えられない 日本真相』(KADOKAWA)など。

3(土)



どうし まゆみ
道志 真弓

元アナウンサー

生きているって幸せ

不妊治療の末、やっと授かった娘は世界で数十例の病氣と診断され、8歳で他界。歩くことも話すこともできませんでしたが、明るく楽しく笑顔が絶えない毎日。そんな毎日の中でも、ハラハラしたり、死の覚悟を決めたり・・・生まれてこなければよかった命なんてひとつもない。生まれてきた命すべてに意味がある。生きているんだから、やりたいことをなんでも悔いなくやれる。物事のとらえ方や考え方で、人生はとても楽しく変わることを知ってほしい。講演を通し、命の重さや感謝の心、生きることの素晴らしさを感じていただければと思います。

プロフィール 1965年富山県生まれ。元フリーアナウンサー。重度障がいを抱えた長女(享年8歳)との歩みを講演。命の重さや感謝の心、生きることの素晴らしさを伝えている。東北支援や人と人とのつながりイベントにも携わる。2007~2011年熊本市人権教育講師。道志ファミリーのドキュメント番組は、ANNドキュメンタリー大賞優秀賞受賞。

著書 『笑顔の戦士』(文芸社)。

5(月)



きむら せんしょう
木村 宣彰

大谷大学名誉教授、鈴木大拙館館長

愚直に生きる

毎日、新聞を読むと「人間とは何か」を考えさせられる記事が余りにも多い。現代という時代は人間が人間としてどう生きたらよいか不明瞭になり、自分でも自分がわからなくなっているのではないかと。まさに五濁の時代である。先日、偶然に「今日の今 在るとは思わず 生かされて うれしき事に ひとり笑みする」という一首を知った。私たちが今生きているのは、この世である。五濁の時代に、この世で人として如何に生きるかを考えてみたいと思う。

プロフィール 1943年富山県南砺市生まれ。仏教学者。元大谷大学学長。現在、大谷大学名誉教授、鈴木大拙館館長、真宗大谷派報土寺住職。

著書 『中国仏教思想研究』(法藏館)、『注維摩經序説』『安樂集講要』(東本願寺出版)、『五濁の時代に』(上・中・下巻、北日本新聞社新書)など。

2(金)



あいだ かずひと
相田 一人

相田みつを美術館館長

しあわせはいつも じぶんのこころがきめる
~父 相田みつをの書と言葉~

父相田みつをは「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」「雨の日には雨の中を 風の日には風の中を」「しあわせはいつも じぶんのこころがきめる」など、独特な書体と言葉で知られています。平成3年に、67歳で亡くなった父は、ある時は書家と呼ばれ、またある時は詩人と呼ばれます。書と詩(言葉)という二つの世界にまたがって、詩を作り、それを自分で筆をとって書にするという仕事をしました。父の生涯のテーマは「自分の言葉・自分の書」です。父が求めたもの、そして父が作品に込めた願いをお話したいと思います。

プロフィール 1955年栃木県足利市生まれ。書家・詩人である相田みつをの長男。出版社勤務を経て、1996年東京銀座に「相田みつを美術館」を開館。2003年11月、東京国際フォーラムに新美術館をオープン。現在、美術館業務の傍ら、全国各地での講演活動や執筆活動を行っている。

著書 『じぶんの花を』『本気』『ある日自分へ』(文化出版局)、『いまから ここから』(ダイヤモンド社)などの編集、監修に携わる。著書に『父 相田みつを』(角川文庫)『書 相田みつを』『相田みつを 肩書きのない人生』(文化出版局)。

4(日)



あまたつ たけし
天達 武史

気象予報士

知って得するお天気裏話!

初めまして天気の「天」に達人の「達」と書いて天達です。天気予報みたいな名前ですが、前職はファミリーレストランの店員でした。さて、みなさんの生活に天気はどのくらい関わっていますか? 「傘を持っていこう」「寒いから上着を羽織っていこう」など全く関わらない人はいないかもしれません。天気には晴れ、曇り、雨以外にも、生活に役立つお天気豆知識や思わず人に話したくなる話題がたくさんあります。みなさんが身近に感じている天気をもっと身近に、「へえ〜」と思っていだけのお話をたくさんできればと思っています。

プロフィール 1975年神奈川県生まれ。高校時代は野球部に所属。3年生のときにセンターのポジションでレギュラーを獲得し、俊足を活かして打順は1番。気象予報士になる前はデザイン系の専門学校を卒業後、ファミリーレストランで9年間勤務。2002年気象予報士試験に合格。資格取得後、民間気象会社へ転職。現在、一般財団法人日本気象協会所属。2005年2月よりニッポン放送、文化放送、NHK千葉、NHK宇都宮、茨城放送等のラジオ天気予報を担当。2005年10月よりフジテレビ系列「情報プレゼンター とくダネ!」の天気担当。

著書 『天達のお天気 1日1へ〜』(幻冬舎)、『アマタツさん、ネコが顔を洗うと雨が降るって本当ですか? 知ってとくする天気のことわざ』(徳間書店)。